

静岡県 御前崎市



池新田地区 学び歩きマップ



所在地地図



文化財HP

池新田の由来

池新田は、1605年(慶長10年)、大石惣兵衛氏、本間惣兵衛氏親子によって、当時、新野・朝比奈・門屋にまたがって広大な沼地を形成していた新野池を干拓して、立村した新興村落、「池新田」を起こしたことに始まっている。

立村当時より横須賀藩に属し、代々本間家が本庄屋または庄屋として村の開発に当り、田畑の開墾、砂防工事などの指導に献身し、開村当時40～50戸の寒村が、100年を経過した宝暦年間には200余戸の村落にまで発展した。

特に、1866年(慶応2年)の海岸開発は大掛りな開墾事業であったと伝えられている。

お問い合わせ

■ 御前崎市役所 社会教育課
御前崎市池新田 5585
TEL.0537-29-8735

■ 池新田地区センター
御前崎市池新田 3262
TEL.0537-86-2200

2023年3月現在 第3版

1 丸尾記念館

MAP C-2



江戸時代の末期に丸尾徳三郎氏(初代)により建てられた丸尾邸を修復し、丸尾家三代の遺徳を顕彰する記念館として整備されたものである。

館内には、名誉市民の丸尾謙二氏(三代)が創立した池新田農学校(現池新田高校)や県議会議員を務めた当時の資料・写真などが展示されている。

和室・庭を利用した茶会や企画展などが開催される。

2 ドンプチ公園

MAP C-2



田畑の水位の高い地所を選んで池のように3m前後掘り、自然と染み出すシボミズをため、灌漑や汚れものの洗濯用水としたため池をこの地ではドンプチと呼んだ。ドンプチの周囲には土止めと日よけのためにヤナギやダイミョウチクなどを植えた。鉄分を多く含む水は染物用としても利用された。市内のドンプチは今はなく、ここは公園として保存されている。

3 下水神社(しもすいじんじや)

MAP D-2



池新田地区5町の氏神である。1605年(慶長10年)池新田村を起こした際、守護神として下朝比奈村と協議の上、大和国の丹生川上神社の祭神たる弥都波能売命を勧請して建立したといわれる。この神は水を司る神として信仰されている。

4 東泉寺(とうせんじ)

MAP D-2



創建年度はつまびらかでないが、往古は洞仙寺と称されていたよう。武田徳川両軍の城飼郡侵入で焼失したのち、高天神攻略戦が小康状態を保っていた1580年(天正8年)、禅僧能天春藝が堂宇を再建し、曹洞宗に改宗したのがはじめとされる。宝物として、画家の丸尾月蟬が描いた十六羅漢の古画十六幅を所蔵している。

5 新野池干拓排水路(にいのいけかんたくはいすいろ)

MAP E-2



遠州灘一帯に広がる砂丘によってせき止められてきた新野池は、雨が降るたびに満水となり、あふれた水は付近一帯を洗い流し、耕地は池と化していた。南遠一帯の開拓を指導していた大石惣兵衛久末氏・本間惣兵衛清光氏と地域の人々の手で1605年(慶長10年)排水口を設ける開削が始められた。これにより約100ha、石高1450石の水田が造成された。

6 私立城東病院跡(しりつきとうびょういんあと)

MAP D-2



静岡県明治銅版画風景集より

1882年(明治15年)、三代目丸尾謙益(興堂)氏が医師の育成と病院建設の必要性を感じ、自ら資金を投じて当時の愛知病院から医師を招聘して早苗町の自宅に城東病院を開設した。翌年、丸尾文六氏らの協力を得て、本町に新築した。

当時この地方では珍しい総合診療の病院として、地域の人々の生活を支えた。

7 大山不動尊(おおやまふどうそん)

MAP B-3



創建は室町時代とも江戸時代ともいわれ、相模国(現在の神奈川県)の大山不動石尊権現をこの地に勧請祭祀した。「波切不動様」として漁業を生業とする人々の信仰が厚く、航海の安全・豊漁祈願、家運隆盛・家内安全が祈られた。20年に一度のご開扉では、祈願の文字を記した4寸(5寸)角長さ15尺の棒木を地中に埋めて、遠州舟歌に合わせて四方の綱を引きあう「棒木こぎ」を行う。最近では2016年(平成28年)に行われた。

8 駒止観音堂(こまどめかんのどう)

MAP B-3



武田勝頼がここを通りかかったときに、白いきつねが傷を負って倒れているのを見て、近くに敵兵が潜んでいることを見抜き、難を逃れた。身代わりになった狐の恩に報いるため、勝頼は家臣の笹野井金十郎をこの地に止まらせ、一堂を建立し、観音菩薩を祀ったと伝えられている。

9 山伏堂(やまぶしどう)

MAP C-2



お堂の中には「八橋光義之霊」と書かれた位牌が祀られている。江戸時代、六部(行脚僧)が諸国遍歴の旅を重ねたが、この地で不慮の横死を遂げたという。村人は、松を植えて哀れんだ。後年、松を伐採した者に不幸が起こり、六部の祟りだと恐れられ、村人たちは堂を建て供養した。その後災いがなくなり、「不幸を代わって背負ってくれる六部の霊位」として代受苦を願う人々が参詣するようになった。

10 長者公園(ちやうじゃこうえん)

MAP C-3



今は公園になっているところに昔、長者塚という大きな砂丘があった。ここに住む半蔵じいさんはある日遊びに来るきつねの親子を驚かしたところ、その夜から子ぎつねに家の周りを取り囲まれ、一晩中わめく声で眠れなくなった。毎晩続くので、おわびにきつねの巣に毎日油揚げを置いたところ、子ぎつねが騒ぐこともなくなった。この物語は「長者塚の秘密」という児童向けの本で楽しむことができる。

11 波小僧像

MAP C-5



地元では、天候の変わり目に突然鳴り出し、すっと鳴り止む遠州灘の海鳴りを「波小僧」と呼ぶ。昔、漁師に捕えられた波小僧が、海へ逃してくれた恩返しとして、天気の変り目を大きな音で知らせるようになった。この不思議な現象は、遠州七不思議のひとつとして今日に伝えられている。また、環境庁が定めた「日本の音風景100選」(1996年)に選ばれている。

12 浜岡砂丘

MAP B-5



浜岡砂丘は天竜川から流出する土砂が沿岸潮流に乗り「遠州のからっ風」と呼ばれる強い西風によって運ばれ形成されたもの。以前は、高さ20mにも達する砂丘があったという。海岸の集落は強い西風で田畑が埋まることを防ぐとともに

に耕地を拡大する目的で1864年(文治元年)頃から海岸線に対し斜めに造成し、砂除植えや植林を行ってきた。

飛砂被害防止と景観維持を両立した浜岡砂丘は、静岡県から御前崎遠州灘県立自然公園の指定を受けている。冬に風が創り出す芸術「風紋」の姿を見ることができる。

13 白砂公園とカワツザクラ並木

MAP B-4



駐車場から階段を上がるとある公園。松林が続く散策路が整備され、ツツジ・ハマヒルガオなど、季節に応じて砂丘に生息する様々な植物と出会うことができる。展望台からは太平洋、御前崎市街地が見渡せる。また、ひょうたん型の池があり、水辺に生息する花や生物を楽しむことができる。

駐車場北側を東西に走る太平洋自転車道の600mにわたり、市民の篤志家によって植えられたカワツザクラがならんでいる。2月中旬頃から一足早い春が訪れる。

14 浜水神社(はますいじんじや)

MAP C-4



江戸時代末期、砂地開拓のための砂防海岸林の造成の際、「3 下水神社」を分祀し、浜水神社が建立され、工事と海の安全(津波・台風)が祈願された。建立の翌年から造成工事が始まり100年間苦難の中、砂地開拓が行われた。なお、海の治水神社として漁業者にも厚く信仰されている。当初は長者塚(現日本特殊塗料株)に社があったが、後、現在地に移動した。

● 旧陸軍 観的所(かんてきじょ)トーチカ

MAP C-5



戦時中、旧陸軍遠江射場が砂丘一帯(掛川市、御前崎市)に建設され、砲弾の着弾点を観測する観的所(トーチカ)が射場内十か所に建てられた。鉄筋コンクリートつくりの観的所は戦後ほとんどが壊されたが、この地に唯一当時の姿のまま残っている。このトーチカの西に「八千代」の地名がある。これは、原爆列から8kmであったことからつけられた。

静岡県御前崎市 池新田地区学び歩きマップ



| | | | |
|---------------------------------------|-----------|--------|----------|
| — | 池新田 A コース | 約 4 km | 徒歩約 90 分 |
| — | 池新田 B コース | 約 4 km | 徒歩約 90 分 |
| — | 池新田 C コース | 約 4 km | 徒歩約 90 分 |



1
2
3
4
5

1
2
3
4
5

新野地区

朝比奈地区

高松地区

佐倉地区

風のマルシェ御前崎

桜ヶ池

御前崎市

遠州灘



A B C D E